

Q. 学校給食の充実を

Q. 図書館・児童館を利用する児童の交通手段は



樋坂 里子 議員

学校給食の充実を

質問 来年度は、現行の給食費で安全で美味しい給食を提供するとのことであるが、物価高騰への取り組みの中、児童生徒に必要な摂取カロリー維持は可能なのか。

教育長 学校給食法に基づく必要摂取基準が定められており、カロリーだけでなく、他の栄養バランスが根底にある。創意工夫をしながら安全・安心を第一に考え、新鮮で美味しい給食の提供に努めている。

質問 給食費の滞納はあるのか。

教育長 平成17年度からの収納率は100%。ただし、平成16年度以前の滞納繰越分が2名、約19万円ある。

質問 給食費を値上げしない対策として、子どもたちが楽しんでしているバイキング給食やデザートを取りやめたと聞くが、町費負担で復活できないか。

教育長 バイキング給食は通常食の約3倍のコストがかかるため、取りやめる旨を保護者に知らせたが、その後「よろこそ町長室」での中学校生徒会との意見交換で復活の要望があり、さらに、小学校統合前の思い出に残る年にしてもらいたいことから実施するよう見直しをした。給食費では対応出来かねるので、差額は町費負担



▷バイキング給食(新中3年生)

分は町費負担で賄う(花月小12月15日、大和小12月24日、新中3年1月19日、吉野小3月2日、新小6年3月13日に実施予定)。デザートは回数を減らし、クリスマスや節分、ひな祭りなどの節目に対応する。

図書館・児童館を利用する中央地区以外の児童の交通手段は

質問 小学校統合後に図書館や児童館を利用する花月・吉野・大和方面の児童の帰宅の交通手段について、どのように考えているのか。

教育長 図書館や児童館の利用の促進とともに、少年団活動などにも積極的に参加してほしいと考えている。その児童の帰りの交通手段は、現在、中学校の部活便を利用する予定。中学校の部活便を利用するに当たっては、利用施設職員、少年団活動等指導者の協力と、小学生の帰宅時間の関係や下車した後の保護者の迎えなど、体制を整える必要がある。2月に保護者説明会を計画しており、内容を整理し運行計画を示したい。